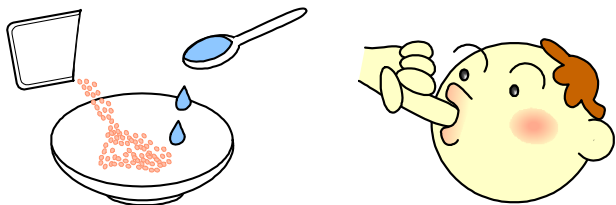


子供の粉薬 のませ方

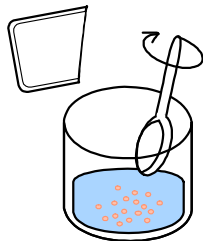
乳児(～1歳)

その1



- ① 小さな容器の中に粉薬をあけ、数滴の水を加えて、ペースト状に練ります
- ② 手をきれいに洗って、練った薬を指先につけ、お子様の口の中(上あごや頬の内側)に塗りつけます。
- ③ 最後に、水をふくませて、薬をのみこむようにしてください。

その2



- ① 小さな容器の中に粉薬をあけ、少しずつ水を加えて、シロップ状にします
- ② 溶けた薬をスプーンやスポイト、哺乳瓶の乳首を使って飲ませて下さい。
- ③ 薬をのんだ後、口の中に薬が残らないように、飲み物を飲ませて下さい。
*哺乳瓶の乳首を使う場合、穴が狭く、薬が十分に出ないことがあります。薬用の乳首(穴を少し大きく開けたもの)を用意すると良いでしょう。

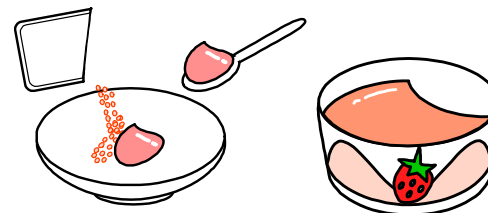
注意すること

- 水に溶けにくい粉薬もあるので、注意してください。
- 熱湯は使わないでください。薬が変化してしまうことがあります。
- ミルクに混ぜて飲ませると、味が変わりミルクを嫌う事があります。

薬をのませるコツ

- ミルクを飲んだ後は、満腹になって薬をのまなかったり、ミルクと一緒にはいってしまうことがあります。お腹が空いているときやミルクを飲む前など、薬をのむタイミングをずらすこともひとつの方法です。

幼児(1～6歳)



- ① 粉薬に好みの食べ物を少量(スプーン1～2杯位)加えて食べさせます。ヨーグルトやゼリー、アイスクリーム、チョコクリーム、ジャムなどに混ぜるとのみやすくなります。
- ② 薬をのんだ後、口の中に薬が残らないように、水を飲ませてください。

注意すること

- 薬は飲ませる直前に1回分だけを混ぜ、作り置きはしないで下さい。
- 薬をのみ残す事がないように、一回で食べられる量に混ぜてください。
- 薬が口の中に残ったままにすると、苦い味がでてきたり、口の中に不快感が残ったりすることがあります。

薬をのませるコツ

薬の味が嫌いなお子さんには…

- ジェムやココアなど、味や香りの強いものと混ぜることにより服用しやすくなる場合があります。
- 氷やアイスクリームなど冷たいものを食べておくと、一時的に味覚が鈍くなるため、薬を服用しやすくなります。

甘い薬が好きなお子さんは…

• 砂糖をまぜると、甘味を増やしてあげることができます。

下痢をおこしているお子さんには…

- 下痢が治りにくくなることもあるので、砂糖やはちみつ、オレンジジュース、乳製品などに混ぜるのはなるべく避けましょう。おすすめはりんごジュースやスポーツドリンクです。

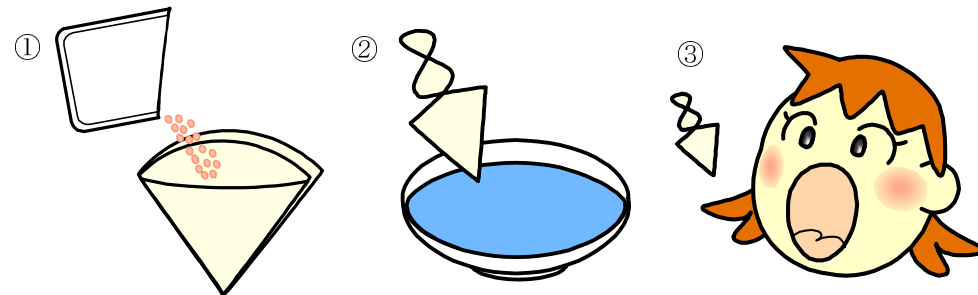
小児

- ① 少量の水で口の中をうるおします。
- ② 口に粉薬をふくませて、水やぬるま湯を飲ませます。

注意すること

- 薬をのんだ後、コップ1杯位の水を飲ませてください。薬がきちんと胃に流れるように、また、薬を溶かしてよく吸収させるために十分な水分が必要です。
- 粉薬を突然飲むと、むせてしまう事があるので、注意して下さい。
- 粉薬が飲み難い時は、オブラートで包んで飲ませる方法もあります。

オブラートを使った飲み方



- ① オブラートを折って、袋の部分に粉薬をいれ、ねじって薬を閉じ込めます。
- ② 薬を包んだオブラートを軽く水につけ、飲んで下さい。水に濡らす事で、オブラートが口に貼りつかずに、薬をツルンと飲むことができます。
- ③ 水につけたあとは破れやすいためすぐにのんでください。

注意すること

水がついた手でオブラートを触ると、破れますので気を付けて下さい。

薬をのませるコツ

最後に、薬をのむことは病気を治すために大切であるということをお子様にお話ししてあげてください。そして、薬をのむことができたなら、ほめてあげてください。

薬がのめるという自信を持つことで、お子様自身が進んで治療を受けることができます。

ひかり薬局 柏木店
0742-32-5115